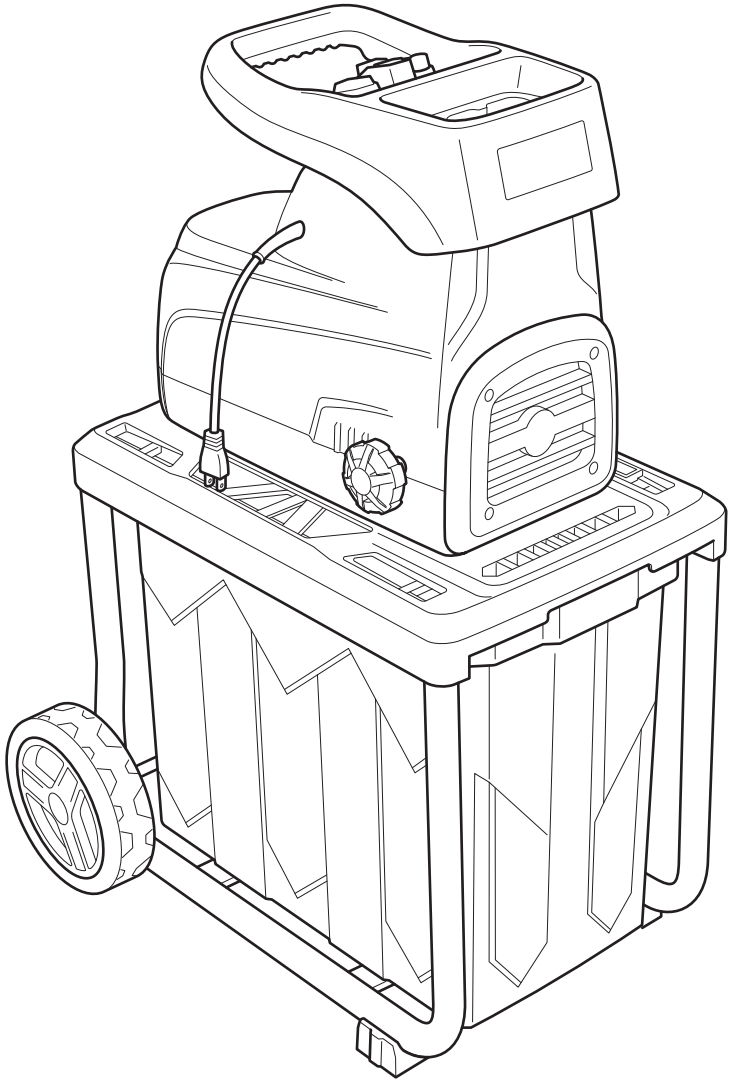
PACK **一般家庭用**

取扱説明書

品番 **GSG-1250PA**

ガーデンシュレッダ



各部の名称 …… 2
本体各部 …… 2
付属品 …… 3
部品別売表 …… 3

安全上のご注意 …… 4
警告 …… 4
注意 …… 5

ご使用前の準備 …… 6
本体の組み立て …… 6
延長コードのご使用について …… 7

安全装置について …… 8
シュレッダボックスのセーフティレバー（安全装置） 8
過負荷保護機能（サーキットブレーカ） …… 8

使用方法 …… 10
ギア刃の隙間調整 …… 10
粉砕作業 …… 11

保守と点検 …… 13
ギア刃、受金具の交換方法 …… 13
使用後のお手入れ、保管方法 …… 14
修理について …… 14

故障かな?と思ったら …… 15

仕様 …… 16

このたびは、家庭用ガーデンシュレッダをお買い求めいただき、ありがとうございます。
この商品は、剪定後の枝木容量を減らし、燃えるゴミとして処分しやすく粉砕するための粉砕機です。

●正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に本取扱説明書を必ず読み、記載の手順に従ってご使用ください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる場所に、大切に保管してください。
●第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
●本取扱説明書の裏表紙は、保証書となっております。販売店より「お買上げ日・販売店名」などの記入があることをお確かめください。
●当商品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは当社（下記・裏表紙記載）にご連絡ください。

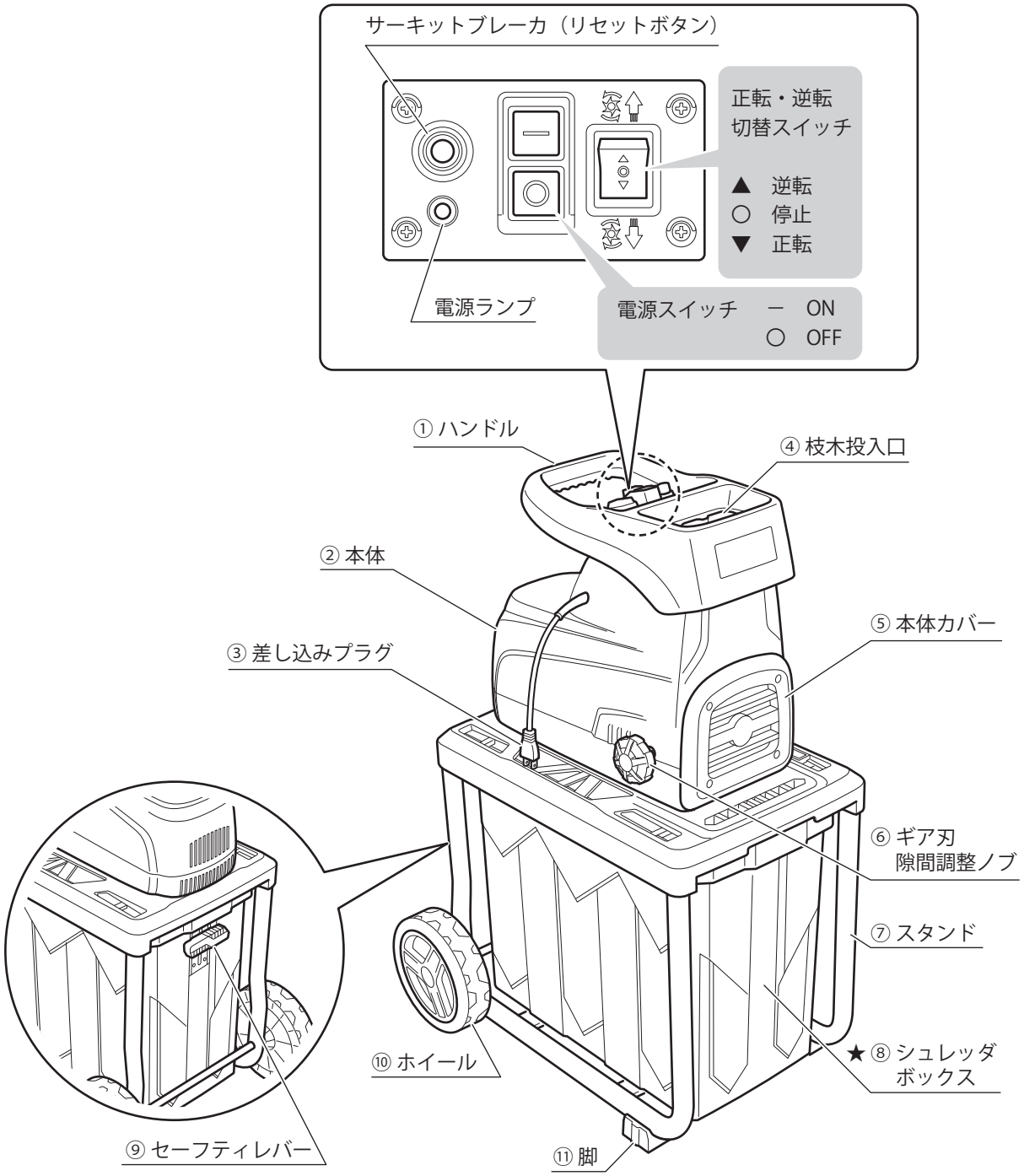
株式会社パオック　　お問い合わせ：（0256）33-5574

各部の名称

梱包内容の確認

開梱後、下記の物が揃っているかご確認ください。不足している場合は、販売店または当社までご連絡ください。

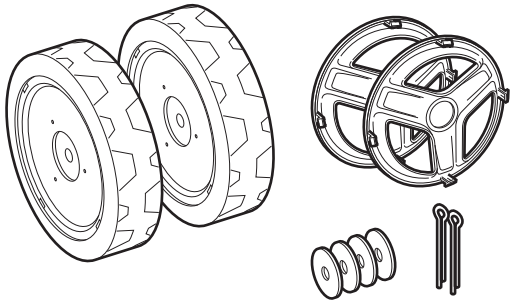
■本体各部



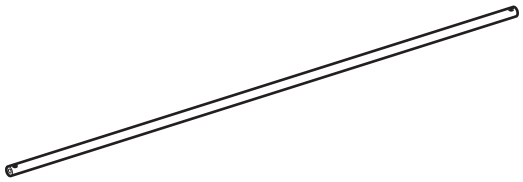
各部の名称

■付属品

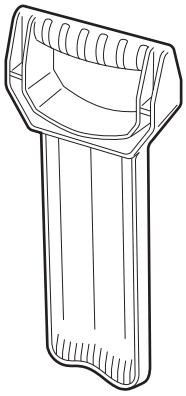
※★印部品については、部品として別売もございます。下記部品別売表をご参照ください。



⑩ ホイール・ホイールキャップ×各2
ワッシャ×4
割りピン×2

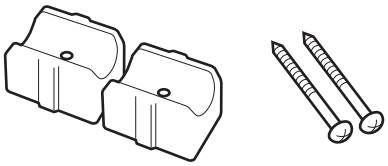


ホイールシャフト



★⑫ 押込み棒

六角棒レンチ（5mm）



⑪ 脚×2（取付ねじ×2）

■部品別売表

No.	部品名	品番	入数
⑧	GSG-1250PA用 シュレッダボックス	GSG-1250PA-SB	1個
⑫	GSG-1250PA用 押込み棒	GSG-1250PA-PR	1個
—	GSG-1250PA用 ギア刃	GSG-1250PA-GB	1個
—	GSG-1250PA用 受金具	GSG-1250PA-AD	1個

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを下記のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分しています。

⚠警告	⚠注意
『**死亡**や**重傷**を負う、または**火災**が発生するおそれがある内容』です。	『傷害を負う、または物的損害が発生するおそれがある内容』です。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分しています。

してはいけない内容『**禁止事項**』です。

必ず実行していただく内容『**強制事項**』です。

⚠警告

取扱説明書をよく読み、指示に従う。
- 取扱説明書に記載された内容以外での使用は、事故の原因となります。

下記の条件を満たす場所で使用する。
- ● 雨や水などがかからない、乾燥した場所
- ● 可燃性のガスや液体、揮発性可燃物や火気が近くに無い場所
- ● ガス管や水道管、電源ケーブル等の重要なものが通っていない場所
- ● 足場が水平で、安定している場所
- ● 日中や明るいライトの下など、よく見える場所
- ● 子どもや、使用者以外が近づかない場所
- 上記に反する場所での使用は、火災や感電、爆発などの重大な事故や、けがの原因となります。

作業に適した服装で作業をする。
- 作業環境に応じて、ヘルメット、保護メガネ、耳あて、防じんマスク、手袋、安全靴等の保護具を着用してください。

各部のボルトやねじにゆるみがないことを確認する。
- 故障や事故の原因になります。

本機の電源は、銘板に表示している単相交流100V電源を使用する。
- 故障や発火、発熱、焼損、性能低下の原因になります。

始動する前にシュレッダ内にスパナなどの工具や部品の置き忘れがないか確認する。
- 故障や事故の原因になります。

他の器具と電源を併用しない。
- 定格15A以上の電源を単独で使用してください。他の器具と併用すると、ブレーカが落ちる、作動しないなどの異常及び高熱が発生し、故障の原因になります。

本機は大切に取り扱う。
- 誤って落としたり、ぶつけたりした時は、機体などに破損や亀裂、変形がないかよく点検する。

本機の上に座ったり、重量物を載せない。
- 破損や亀裂、変形の原因になります。

電源コードを乱暴に扱わない。
- 電源コードを引っ張って本機を移動させたり、電源コードを引っ張って電源から抜いたりすると、電源コードを傷め、断線・短絡（ショート）の原因になります。
- 電源コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。電源コード損傷の原因になります。

電源コードや差し込みプラグは定期的に点検する。
- 電源コードや差し込みプラグが損傷している場合は、すぐに交換が必要です。お買い求めの販売店または当社までご連絡ください。
- 電源コードや差し込みプラグが傷んだまま使いますと、やけど・感電・火災などの原因となります。

不意な始動は避ける。
- 差し込みプラグを電源に差し込む前に、スイッチがOFFになっていることを確認してください。

指定された用途以外で使用しない。
- 故障や事故の原因になります。

地面が固く平らな場所に設置して使用する。
- 不安定な場所に設置すると、本機が移動や落下、転倒して事故の原因となります。

作業中は、作業者以外の人や子ども、動物を近づけない。
- 事故やけがの原因になります。

感電に注意する。
- 本機を使用中、アースされているものに身体を接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

濡れた手でスイッチの操作、差し込みプラグの抜き差しをしない。
- 感電や事故の原因になります。

枝木投入口や排出口に手を入れたり、顔を近づけたり、直接のぞかない。
- 事故やけがの原因になります。

木炭や竹炭などの導電性のあるものは投入しない。
- 故障や事故の原因になります。

ギア刃が回転しているとき、差し込みプラグが差し込まれているときは、絶対に本体カバーを開けない。
- 事故やけがの原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠警告

粉砕する材料の中に、異物が含まれないように注意する。
- 金属、岩石、ビン、缶などの異物が入ると故障したり、飛散した異物でけがの原因となります。

必要に応じて、騒音対策がされた場所で使用する。
- 騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規則があります。周囲の迷惑にならないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
  必要に応じて、遮音壁を設けて作業を行ってください。

次の作業の場合は、電源スイッチをOFFにした後、差し込みプラグを電源から抜く。
- 本機を持ち運びする時。
- 本機を使用しない時、保管する時。
- メンテナンスを行う時。
- その他、不意に動き出すと危険な時。

本機を分解、改造しない。
- 事故やけが、故障の原因になります。

損傷した部品がないか点検する。
- そのまま使用すると破損や故障、事故やけがの原因となります。

使用しないときは電源から差し込みプラグを抜き、きちんと保管する。
- 乾燥した場所で、子どもの手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

⚠注意

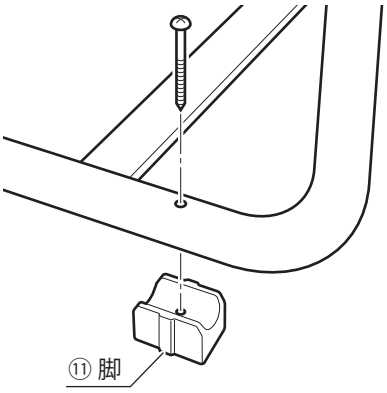
本機の調子が悪かったり、異常音や異臭などの異常を感じた場合は、直ちに使用を中止する。
- お買い上げの販売店、または当社まで問い合わせください。

ご使用前の準備

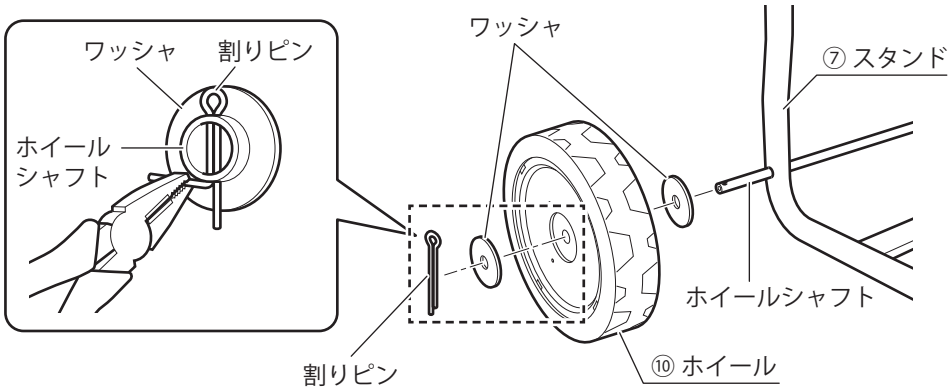
必ず差し込みプラグを電源から抜いた状態で行ってください。

■本体の組み立て

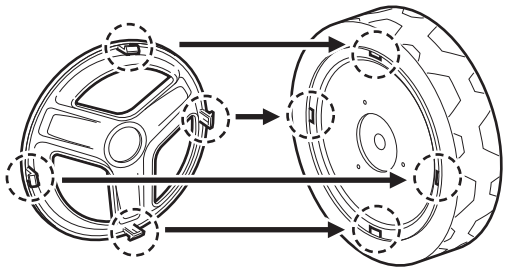
1 スタンドに脚を2箇所取り付けます。
※ ⊕2ドライバが必要です。



2 スタンドにホイールシャフトを通し、ワッシャ、ホイール、ワッシャ、割りピンの順番に取り付けます。
●ペンチなどを使用して割りピンを曲げ、ホイールを固定します。



3 ホイールキャップのツメ位置を合わせ、均等に押してホイールにはめ込みます。



ご使用前の準備

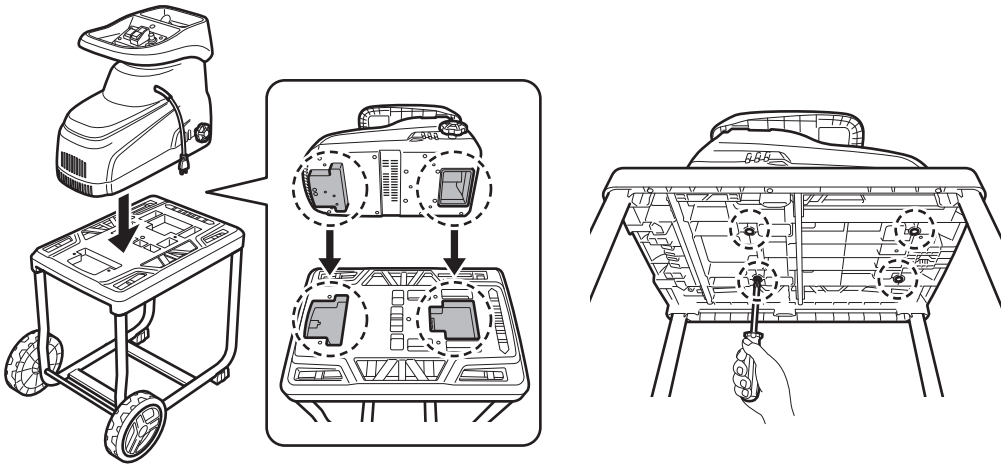
必ず差し込みプラグを電源から抜いた状態で行ってください。

4

本体をスタンドに取り付けます。

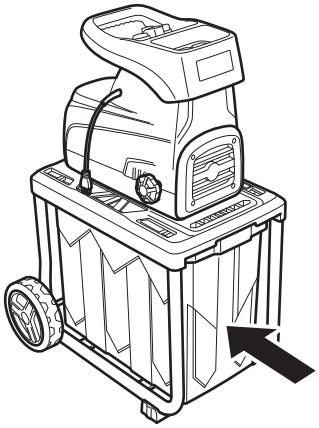
- スタンド上部の受け部に、本体底面の突起を合わせて載せます。
- スタンド底面からねじで本体を4箇所固定します。

※突起と受け部の位置が合っていないと正しく取り付けできません。
※⊕2ドライバが必要です。



5

セーフティレバーが奥側になるよう向きを確認し、シュレッダボックスをスタンドに差し込みます。



■延長コードのご使用について

- 延長コードは損傷していないことを確認してからご使用ください。
- 延長コードは電流を流すのに十分な太さで、できる限り短いコードを使用してください。
  長すぎると電圧降下により、起動しなかったりモータ焼けの原因となります。
- 延長コードは屋外使用に適合したキャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードをご使用ください。

コードの太さ	2.0mm^2 以上
最大長さ	10m 以内

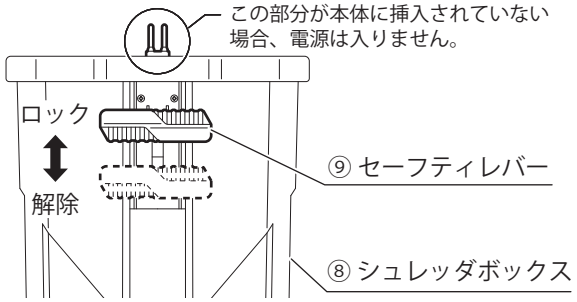
安全装置について

必ず差し込みプラグを電源から抜いた状態で行ってください。

■シュレッダボックスのセーフティレバー（安全装置）

シュレッダボックスをスタンドに取り付け、セーフティレバーを押し上げて本体と固定が行われないと、本体の電源が入らない安全構造になっています。

シュレッダボックスのセーフティレバーは、本体に正しく固定された場合のみ電源スイッチが入る安全装置です。
運転時は､必ずセーフティレバーをしっかりと押し上げて固定（ロック）してください。

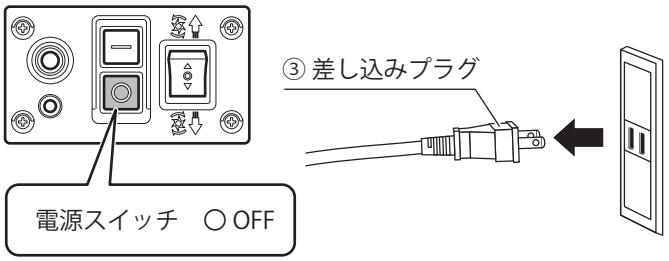


■過負荷保護機能（サーキットブレーカ）

本機には、サーキットブレーカ（過負荷保護装置）が内蔵されています。
モータに無理がかかり過負荷状態になると、運転が自動的に停止します。
運転が停止した場合は、次の手順に従い再起動してください。

1 必ず電源を切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。

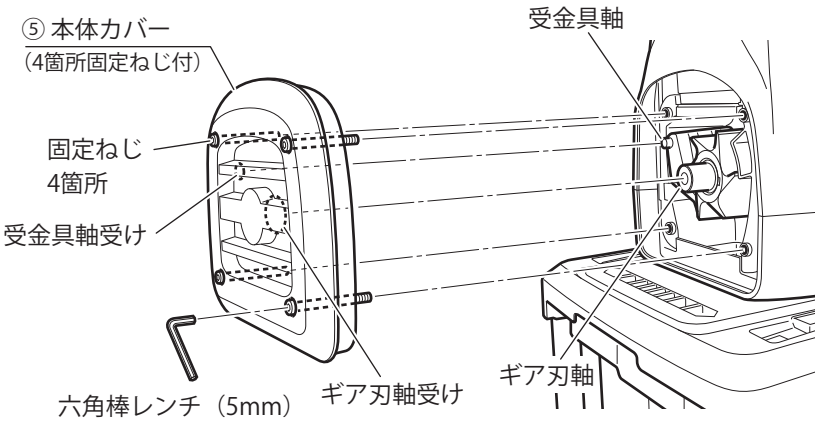
電源を切る
OFFスイッチを押し、差し込みプラグを抜いてください。

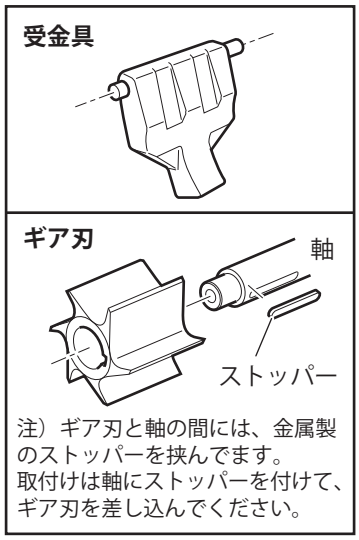


安全装置について

必ず差し込みプラグを電源から抜いた状態で行ってください。

2 本体カバーを開けて木屑を取り除いてください。
本体カバーの固定ねじ4箇所を六角棒レンチ（5mm）でゆるめ、カバーを開けてください。
※本体カバーを取り外す際、受金具やギア刃がカバーと一緒に外れる場合があります。部品の落下や手指のけがに十分注意してください。





注）ギア刃と軸の間には、金属製のストッパーを挟んでます。
取付けは軸にストッパーを付けて、ギア刃を差し込んでください。

カバーを開ける際は付属品の六角棒レンチ（5mm）が必要です。
※ギア刃や受金具の落下に注意してください。ギア刃が外れた場合は元に戻してください。

3 本体内部に溜まった木屑を取り除いてください。
軸受け内部に木屑や異物が入らないよう注意してください。

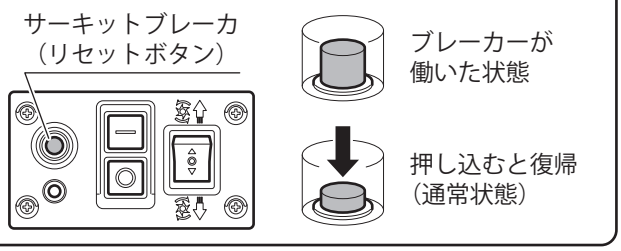
4 本体カバーの受金具軸受けとギア刃軸受けの位置を合わせて取り付けてください。
次に、固定ねじ4箇所を六角棒レンチ（5mm）で確実に締めてください。

5 再始動する場合は、「粉砕作業」の手順に従って運転してください。P11

●サーキットブレーカが働いた場合の復帰方法

6 サーキットブレーカを押し込んで、回路を復帰させてください。
※電源スイッチをOFFにし、差し込みプラグを抜いた状態で、1～2分間待ってから押し込んでください。

サーキットブレーカ（リセットボタン）
サーキットブレーカが働くとリセットボタンが上がり、押し込むとブレーカがリセットされ復帰します。



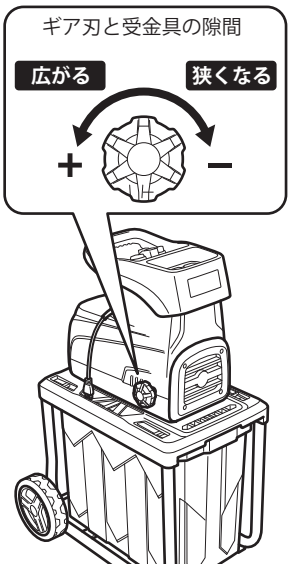
使用方法

- 本製品の定格時間は約30分です。30分以上ご使用になる際は、モータの焼き付けを防ぐために、30分以上休憩させてからご使用ください。
- 作業環境に応じて、ヘルメット、保護メガネ、耳あて、防じんマスク、手袋、安全靴等の保護具を着用してください。
- 損傷した部品がないか点検してください。
- 点検作業時は差し込みプラグを電源から抜いて行ってください。
- 差し込みプラグを電源に差し込む前に、スイッチがOFFになっていることを確認してください。不意に作動すると危険です。
- 枝木投入口や排出口に手を入れたり、顔を近づけたり、直接のぞかないでください。

■ギア刃の隙間調整

出荷時は、ギア刃と受金具の間に隙間を設けています。枝木の粉砕状況に合わせて調整を行ってください。

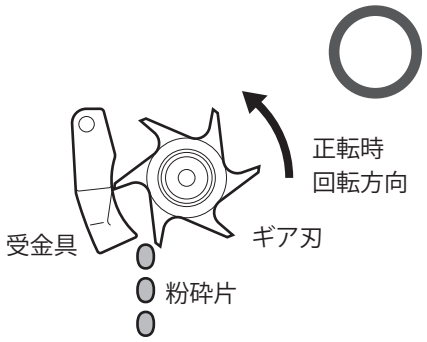
ギア刃と受金具の隙間は、本体側面のギア刃隙間調整ノブで調整します。
はじめて使用する場合や、粉砕しにくくなった場合に調整してください。隙間の調整は、運転しながら行います。



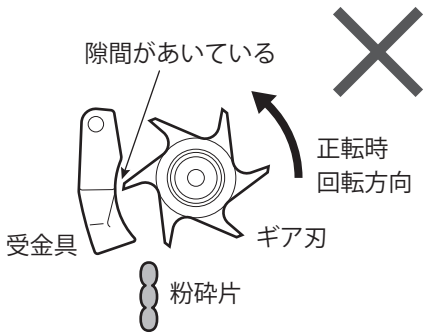
右回し・・・ギア刃と受金具の隙間が狭くなります。
ギア刃や受金具の摩耗が進み、切れ味が悪くなった場合や、粉砕片がつながって排出される場合は、右方向に少しずつ回して調整してください。
※締めすぎるとギア刃が回転できなくなるため、注意してください。

左回し・・・ギア刃と受金具の隙間が広がります。枝木が噛み込み、粉砕が停止した場合などに調整してください。

φ10mm 位の枝を投入しながら良く切れるまでノブを右回しにゆっくり締めてください。



受金具とギア刃の間に隙間ができると粉砕片がつながって出てきます。



使用方法

■粉砕作業

1 差し込みプラグを延長コードに接続します。

●使用可能延長コード

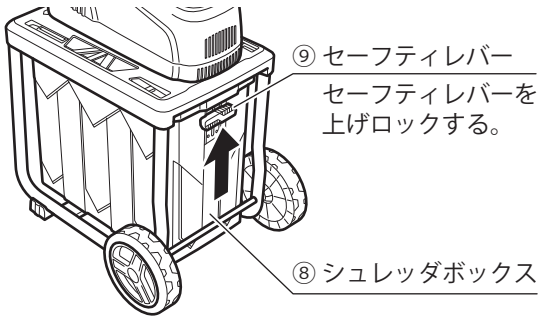
コードの太さ	2.0mm^2 以上
最大長さ	10m 以内

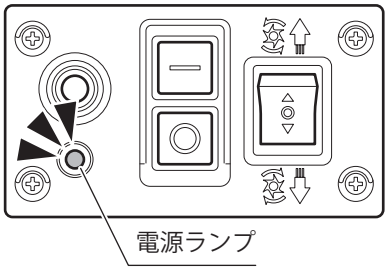
※ドラム式延長コードを使用する場合は、コードをすべて引き出してから使用してください。

2 シュレッダボックスを確認します。

●シュレッダボックスのセーフティレバーを押し上げ、スタンドに確実に固定してください。

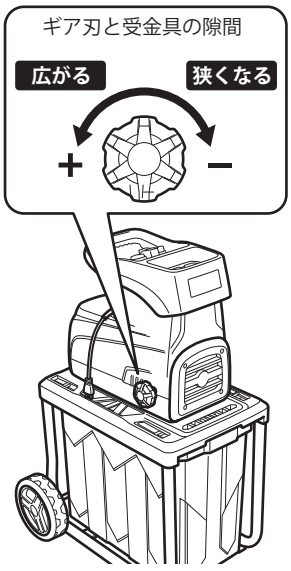
正しく固定されると、電源ランプが点灯します。



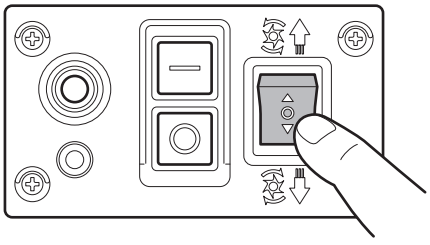


3 ギア刃隙間調整ノブを左にまわし、ギア刃と受金具に隙間があることを確認してください。

●隙間の調整は運転しながら行います。P10



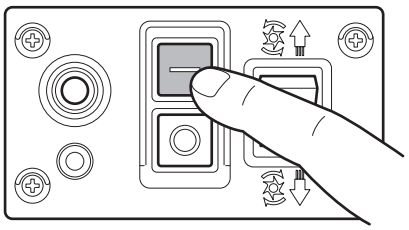
4 正転・逆転切替スイッチを「▼正転」に合わせます。



使用方法

5

電源スイッチをON（ー）にします。



6

枝木投入口に、粉砕する枝木を投入します。

- ● 太い枝木は、細い方から投入してください。
- ● 水分を多く含む枝木は、十分に乾燥させてから投入してください。
- ● 無理に押し込まないでください。一度に大量に投入すると、詰まりの原因になります。
- ● 泥が多量に付着した枝木は投入しないでください。詰まりの原因になります。

●枝木の太さに応じて、ギア刃隙間調整ノブを回して調整してください。
P10

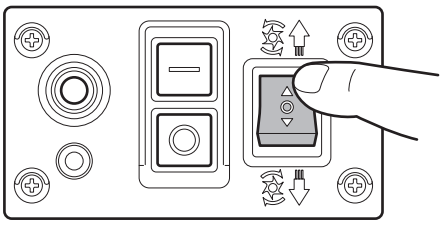
●投入した枝木が短く残ってしまった場合は、押込み棒を使用して枝木を押し込んで粉砕してください。
投入口に手を入れると、巻き込まれてケガの原因になり大変危険です。

7

枝木が詰まり、刃の回転が停止した場合は、電源スイッチをOFF（〇）にしてください。

●正転・逆転切替スイッチを「▲逆転」に切り替えます。
電源スイッチのONを押し続けることでギア刃が逆回転し、詰まった枝木を取り除けます。

※逆転時は、電源スイッチONの状態は保持されません。



保守と点検

● 整備点検の際は、必ず操作スイッチから手を離し、差し込みプラグを抜いてください。事故、けがの原因となります。
● モータ付近が高温になるため、整備点検の際は本機が冷えてから作業してください。やけどの原因となります。

■ギア刃、受金具の交換方法

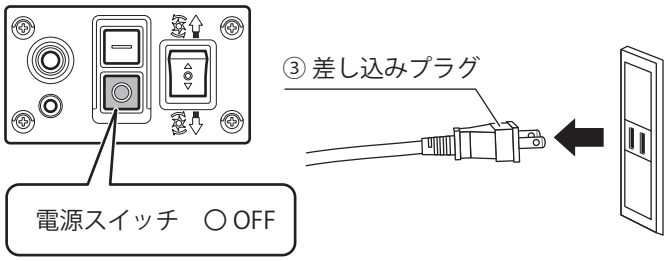
※作業には付属品の六角棒レンチ（5mm）が必要です。

● 本体カバーを開ける前に、必ず電源スイッチをOFFにして、差し込みプラグを電源から抜いてください。ギア刃の回転が完全に停止していることを確認してから作業を行ってください。
● 作業時は必ず保護具を着用してください。保護メガネ、防塵マスク、丈夫な手袋を着用し、安全に配慮して作業を行ってください。
● 交換作業の途中で電源を入れないでください。重大な事故や本体故障の原因となります。

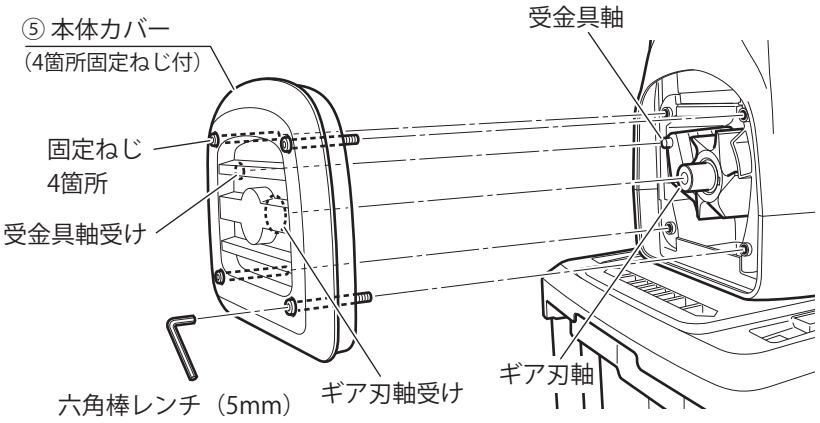
長期間の使用、または使用頻度が高い場合、ギア刃や受金具が摩耗し、十分な粉砕ができなくなることがあります。ギア刃隙間調整ノブで調整しても粉砕が不十分な場合は、下記の手順に従ってギア刃と受金具を交換してください。
P3

1 必ず電源を切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。

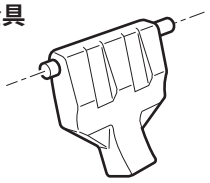
電源を切る
OFFスイッチを押し、差し込みプラグを抜いてください。



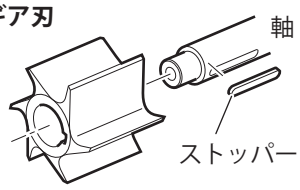
2 本体カバーの固定ねじ4箇所を六角棒レンチ（5mm）でゆるめ、カバーを開けてください。
※本体カバーを取り外す際、受金具やギア刃がカバーと一緒に外れる場合があります。部品の落下や手指のけがに十分注意してください。



受金具



ギア刃

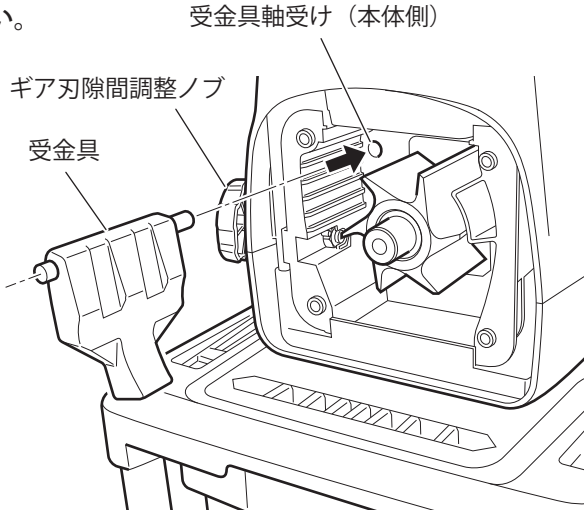


注）ギア刃と軸の間には、金属製のストッパーを挟んでます。
取付けは軸にストッパーを付けて、ギア刃を差し込んでください。

カバーを開ける際は付属品の六角棒レンチ（5mm）が必要です。
※ギア刃や受金具の落下に注意してください。ギア刃が外れた場合は元に戻してください。

保守と点検

3 必要に応じて、ギア刃または受金具を交換してください。
ギア刃隙間調整ノブを回してギア刃と受金具の隙間を広げてください。
摩耗した部品を取り外し、交換用部品を本体に取り付けます。



4 本体カバーの受金具軸受けとギア刃軸受けの位置を合わせて取り付けてください。
次に、固定ねじ4箇所を六角棒レンチ（5mm）で確実に締めてください。

5 交換後は、ギア刃と受金具の隙間を調整してください。P10

■使用後のお手入れ、保管方法

- 本機使用後、保守・点検・収納する時は、必ず電源スイッチをOFFにして、差し込みプラグを抜いてください。
- 保守・点検時には、必ず丈夫な手袋を着用してください。
  けがをしないように保護具を身につけてください。刃先等に注意してください。
- 水洗いは絶対にしないでください。本機は電動機械です。故障・事故の原因になります。

1. 使用後は丈夫な手袋を着用し、本機の内外に付着した木屑やほこりを取り除き、湿気を拭き取ってください。
2. 本体の汚れがひどい場合は、薄めた石けん水（中性洗剤）を含ませた布をしぼって拭いてください。
   ※ガソリン・シンナー・ベンジン・灯油などは絶対に使用しないでください。
3. 清掃後は、十分に乾燥させてください。
4. 刃部には、防錆スプレーなどを塗布してください。
5. 使用後は、お子様の手の届かない、鍵のかかる乾燥した場所に保管してください。

■修理について

●本機は、お客様による修理を行った場合、保証の対象外となることがあります。
正常な動作をしない、異常を感じた、部品の紛失などの際はお買い求めの販売店、または当社までお問い合わせください。

故障かな?と思ったら

●次のチェックリストに沿った点検を行ってください。

症　状	原　因	対　策
①モータが動かない。	①差し込みプラグが抜けている。	①電源スイッチをOFFにして、差し込みプラグを電源に差し込んでください。
	②通電していない。	②電源に通電しているか確認してください。
	③差し込みプラグ・電源コードが損傷している。	③直ちに使用を中止しお買い上げの販売店または当社へご連絡ください。
	④シュレッダボックスをセーフティレバーで固定していない。（安全装置が働いている。）	④セーフティレバーを上げてシュレッダボックスを固定してください。 P8
	⑤正転・逆転切替スイッチが停止になっている。	⑤正転または逆転スイッチを押してください。
	⑥サーキットブレーカが働いている。	⑥サーキットブレーカが働いた場合の復帰方法の手順に沿って、復帰させてください。 P8
②モータが急に動かなくなった。（作業時）	①過負荷保護機能が働いている。	①過負荷保護機能（サーキットブレーカ）の復帰方法の手順に沿って、復帰させてください。 P8
③ギア刃に粉砕片がくっつく	①故障ではありません。	①使用前にシリコンスプレー等を噴霧するとくっつきにくくなります。
④粉砕されない	①ギア刃の隙間が適切ではない。	①ギア刃隙間調整ノブを回して、適宜調整を行ってください。 P10
	②ギア刃と受金具が摩耗している。	②ギア刃、受金具の交換をしてください。 P3･P13

このシュレッダーは細かく粉砕することが目的ではなく、容量を減らすことで処分しやすく、また燃えるゴミとして出しやすくするのが主目的の粉砕機です。
細い枝や葉っぱは細かく粉砕されません。つる草や雑草の処理はできません。

※上記のチェックを行っても正常に作動しない場合や、不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または当社までご連絡ください。お問い合わせや、ご連絡がないまま直接当社に修理品などを送付されても、処理・対応ができない場合がありますので、ご了承ください。

■仕様

型式	GSG-1250PA
定格電圧	AC100V
定格周波数	50Hz/60Hz
定格消費電力	1,250W
粉砕能力	φ35mm以下 ※枝の種類や形状により異なります。
ギア刃回転速度	54min^{-1}
定格時間	30分
本体サイズ	約 W640×D475×H910mm
本体質量	約 19kg
電源コード長	約 20cm
シュレッダボックス容量	60L
セット内容	・本体 …… 1 ・スタンド …… 1 ・シュレッダボックス …… 1 ・脚／取付ねじ …… 各2 ・ホイールシャフト …… 1 ・ホイール／ホイールキャップ …… 各2 ・ワッシャ …… 4 ・割りピン …… 2 ・押込み棒 …… 1 ・六角棒レンチ（5mm） …… 1

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な状態で使用し、故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。

品名		ガーデンシュレッダ	お買い上げ日※		年　月　日
型式		GSG-1250PA	保証期間		1年
お客様※	ご住所	〒	販売店※	住所 店名 電話番号	
	ご氏名	様			
	電話番号	-（　　）-			

※印欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ずご確認ください。

1．保証期間内でも次のような場合には有償修理になります。

①本書の提示がない場合。
②本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。あるいは文字を書き替えられた場合。
③使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
④お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障及び損傷。
⑤火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
⑥一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輌、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
⑦本製品に接続している当社指定品以外の機器及び消耗品に起因する故障及び損害。
⑧正常なご使用でも消耗部品が、自然消耗、摩耗、劣化した場合。
⑨リサイクル業者や、使用者等による再販など、当社の責任範囲を超える場合。
⑩日本国外での使用。

2．本書は、再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

3．本書は、日本国内においてのみ有効です。

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無償修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただくことがありますのでご了承ください。
※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

株式会社パオック
〒955-0061 新潟県三条市林町2-5-21
TEL:(0256)33-5574 FAX:(0256)33-5559
URL https://www.paock.co.jp

E1233-Q 2606